

令和8年度 安原小学校 スクールプラン

校長名 永原 三士

作成日 令和8年5月1日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子どもの学力を定着させてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 相手の気持ちがわかる子どもに育てほしい
- 地域に愛着をもってほしい

【学校教育目標】

自ら学び、心豊かで創造性に富む
子どもの育成

【めざす児童像】

- ・自ら学び創造力の豊かな子
- ・互いに敬愛の心をもつ子
- ・健康でたくましい子
- ・周りの人と積極的に関わる子

前年度の学校評価

- 授業改善が進んでいるが、引き続き指導力向上に努めてほしい
- 読書環境の充実に努めてほしい
- 保護者・地域との連携についてより一層進めてもらいたい

児童の実態

- 何事にもまじめに取り組む
- きまりを守って行動できる
- 自ら考え実行していく力が弱い

重点目標

確かな学力の育成

- ◎基礎・基本の定着
- ◎主体的・対話的な授業の推進
- ◎読書活動の推進
- ◎家庭学習の推進

豊かな人間性の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止・早期発見
- ◎体験活動の充実
- ◎仲間作りの充実

健康でたくましい子の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎健康・安全習慣の確立
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎危険回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎コミュニティスクールの充実
- ◎中学校区での学校連携の推進
- ◎保幼小の接続の連携
- ◎地域資源の活用推進

具体的な取組

- 粘り強く考える学習習慣の定着を図る
- 進んで自分の課題を見つけ追求する授業の実践
- 考えや思いを書くことに慣れさせる(作文指導を含む)
- 家庭学習の手引きを参考に、自主学習の定着を図る
- 学校図書館の常時開放に取り組み、読書環境の改善を推進する

- 道徳科の授業に体験的な活動を取り入れ、充実を図る
- いじめアンケートを年間3回実施し、未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 異学年遠足等、異年齢交流の良さを生かした活動を推進する
- 児童会委員会活動、学年行事、学級会等で子ども同士が関わる機会を増やす

- 大休憩・昼休憩での外遊びを推奨し、体力の向上を図る
- 体力テストで判明した柔軟性・瞬発力の弱点を意識した体育の授業を実施する
- 早寝、早起き、朝ご飯を推奨する
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に実施し、危機回避能力を育成する

- 学校・学級便り、HP等を通して学校の情報を発信し、授業や行事を積極的に公開する
- 保幼小の接続、中学校区での小小・小中特別支援学校連携を推進・充実する
- 校外学習を積極的に取り入れ、保護者や地域の方々の協力を得ながら、地域の産業や文化、自然を積極的に活用する

指標

- 授業がよく分かる児童が90%以上
- 学力調査の正答率を市平均並みにする

- 学校が楽しいと感じる児童が90%以上
- いじめの解消率が100%

- 朝ご飯を食べた児童が100%
- 体力テストの各種目の数値が昨年度を上回る

- 学校の様子がよく分かる保護者が85%以上
- 学校間・地域連携実践できた教員が90%以上

◎：特に重点的に取り組むこと